

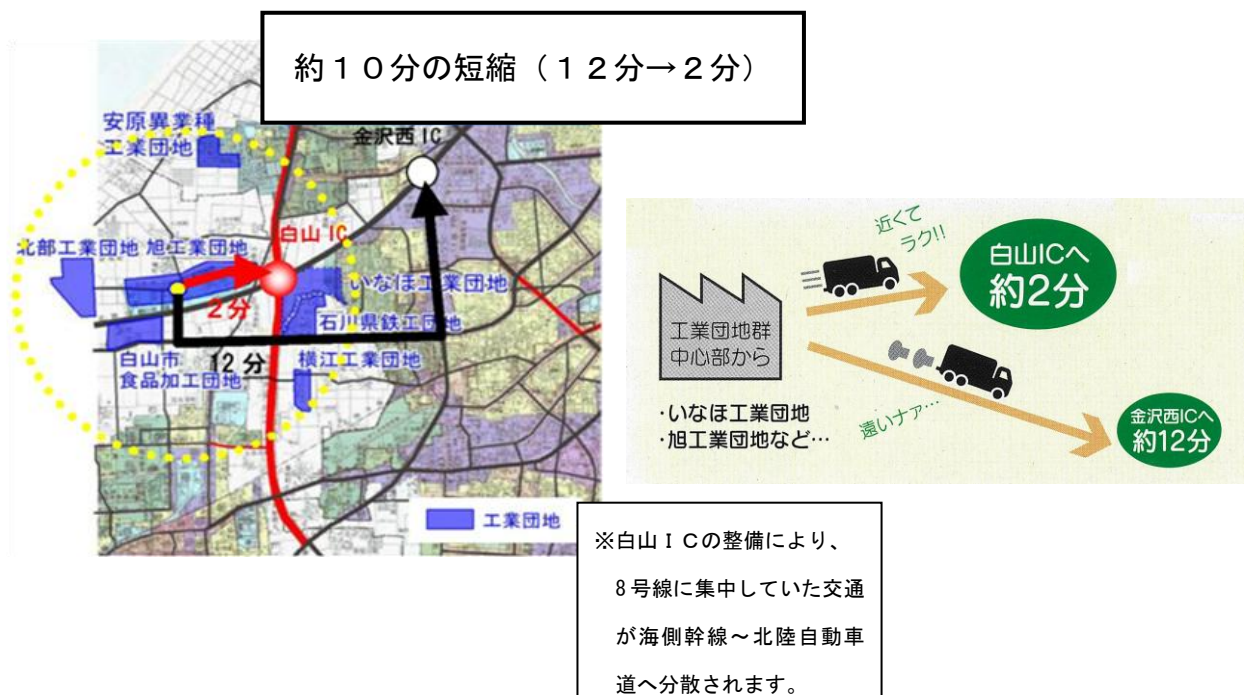
1. 整備効果

①周辺地域の交通渋滞の緩和

現在は、金沢西ICなどをご利用する車が国道8号に集中し、慢性的な交通渋滞が発生しておりますが、白山ICの整備により海側幹線などへ交通が分散・転換されることで交通渋滞が緩和され、渋滞による年間4.7億円の経済損失の削減が期待されます。

②北陸自動車道へのアクセス改善による物流の効率化

白山IC周辺の工業団地から北陸自動車道へのアクセスが改善され、時間短縮による物流の効率化が図られます。



③交通渋滞緩和による環境負荷の低減

白山ICの整備は、北陸自動車道の利便性を高め、交通の円滑化に寄与するとともにCO₂排出量の約830t/年削減に貢献します。

※830tのCO₂を吸収するためには、森林約78haが必要となり、これは兼六園の森林面積（約6ha）の13個分に相当します。